

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	パズル		
○保護者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2025年12月15日		～ 2026年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月29日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの気持ちや発達段階を丁寧に受け止め、安心できる大人との関係性を土台として、落ち着いて過ごせる環境づくりを行っている点が事業所の強みである。	日々の関わりの中で、子どもの気持ちを言葉や態度で受け止め、無理に行動を促すのではなく、安心感を大切に声かけや関わりを意識している。	子どもの情緒の変化や関わり方について職員間で振り返りをを行い、より安定した関係性を築けるよう支援の質を高めていく。
2	遊びや日常生活の中での経験を通して、基本的な生活習慣や人との関わりを無理なく身につけられる支援を行っている。	身辺自立や集団活動について、子どもの発達段階に応じた関わりを行い、「できた」という経験を積み重ねられるよう支援している。	遊びや生活場面での支援内容を整理し、子どもの成長に合わせた関わり方をより意識的にしていく。
3	職員が子どもの様子や小さな変化を共有しながら、チームとして同じ視点で支援に取り組む体制が整っている。	日々の申し送りや話し合いを通して、子どもの関わり方や支援のポイントを確認し合っている。	ケース検討や研修を通して、児童発達支援に求められる視点や関わり方への理解をさらに深めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの成長や変化は見られるものの、その過程や支援の積み重ねが記録や言語化として十分に整理されていない点が課題である。	日々の支援を優先する中で、振り返りや記録に十分な時間を確保できていないことが要因と考えられる。	支援内容や子どもの変化を簡潔に整理できる仕組みを整え、職員間で共有できる体制を構築していく。
2	子どもの発達段階に応じた支援の目標や関わり方について、職員間での整理が十分でない部分がある。	個別対応を重視するあまり、発達段階ごとの共通認識や支援の目安をチームとして整理しきれていないことが要因である。	発達段階を踏まえた支援の視点や目標を整理し、職員間で共有できる形にまとめていく。
3	支援の振り返りや検討の時間が十分に確保できず、支援の質をさらに高めるための整理が不十分な場合がある。	日々の業務に追われ、計画的な振り返りの時間を設けにくい状況がある。	定期的な振り返りや話し合いの時間を意識的に設け、支援内容の見直しと質の向上につなげていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 バズル

公表日 2026年1月29日

利用児童数

9

回収数

8

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1	0	0		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	0	0		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0	バズルさんに通うようになってから手話や言葉が増えた	お子さま一人ひとりの特性や発達段階を踏まえ、手話や言葉、行動など多様な表出方法を大切に支援を行っております。今後も日々の関わりの中で見られる変化や成長を丁寧に捉え、職員間で共有しながら、お子さまに合った支援方法の継続と専門性の向上に努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	0		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	6	1	0	1		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
保 護 者	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	0	0		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7	1	0	0	どんなことをしているのか子どもの様子をもう少し知れるといい	連絡帳や送迎時のやり取りを通じて、日々の活動内容やお子さまの様子をお伝えしております。今後は、活動内容に加え、その際のお子さまの気持ちや関わりの様子についても、より分かりやすくお伝えできるよう工夫し、保護者の皆様との共通理解をより深めてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		

ロへの説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	1	0	聴覚障害を持たないきょうだいが交流できる機会があると嬉しい	貴重なご意見ありがとうございます。きょうだい児同士の交流については、現状では十分な機会を設けられていないと認識しております。今後は、保護者の皆さまのご意見を参考にしながら、きょうだい児も安心して参加できる交流の機会について検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	0	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	1	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	2	もしもの災害も訓練を行っているので本人達も分かりやすいと思う。	非常災害時に備え、定期的に避難訓練等を実施し、子ども達にも分かりやすい形で安全行動を伝えております。今後も、安心して過ごせる環境づくりの一環として、防災に関する取り組みを継続してまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0	子供から「今日は支援行く日？」と聞かれ、「今日はないよ～」と伝えると行きたかったと返ってくるので楽しく通ってるし、ない日は残念がってます。 子どもは通所を楽しみにしており、行きたいと言うことが多々ある。稀に自分の意見を伝えられないなどして泣くこともあるようだが、職員が丁寧に聞き取りをしてくれているようである。	お子さまが安心感をもって通所し、活動を楽しみにしているとお声をいただいております。今後も、安心できる居場所として、子ども達が前向きに通所できる環境づくりと支援内容の充実にも努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	・自宅前まで送迎していただけるので非常に助かっています。デイロポにて写真付きで活動の様子が伺えるため、その場の様子を思い浮かべやすく、さらにコメントより子どもの気持ちを文字で分かるといいます。 ・利用者も増えてきてる為、利用したい日に利用できない日もある できるだけ受入数を増やしてくれると助かる	日頃の支援内容や送迎、活動の様子の共有についてご評価いただき、ありがとうございます。 利用希望が増えている状況につきましては、子ども一人ひとりに丁寧な支援を行うため、現在の人員体制や安全面を考慮しながら受入調整を行っております。 今後も支援の質と安全を最優先にしつつ、体制や運営状況を踏まえながら、より多くのニーズに応えられるよう検討を重ねてまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	パズル		公表日 2026年1月29日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	年齢層によって低年齢児が多ければ、職員の増やし手厚く支援したり、集団遊びを取り入れると職員数を減らせたりできると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		空間を仕切りなどで区切って、動と静の動きがどこで区切られるか、子ども視点でわかりやすくするための環境設定をすること
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	日々の清掃、週ごとの清掃で手の届かない範囲があるので、清掃の職員が綺麗にしてくれている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	2		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	生活支援では個人の成長具合に合わせて、できることは見守りながら、難しいところを援助するなど、職員間で共通理解しながら、子ども達が混乱しないよう、支援している。	同事業所間交流を取り入れたり、地域交流を取り入れ、多方面から活動状況や取り組んでいることを参考にしていきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	当日にできないことが多い為、朝のミーティングで伝えている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		児童発達支援の施設から医療機関や保育園にアプローチをしても、それぞれの機関から反応がないことが多いのでどれだけ頑張っても無駄な気がする。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		学校、保育園などの教育機関とは送迎時に会話しながら、お互い意識疎通ができるが、医療機関とは難しい部分があるため、保護者の方から情報を提供していただき、より正確な知識をつけるよう、職員研修を充実させていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	会話の中で、就学や進学を楽しみにしていることを共有して、共感し、不安な思いを受け止めたり、励ましたりしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	3		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	0	地域交流できるように、定期的に児童センターに出向き、地域子ども達と職員が仲立ちしながら、関わりがもてる支援をしている	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	3			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1			

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8		保護者同士の交流の場になれるような催しを検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	1		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2		職員の体制や、備蓄品、保護者への連絡体制、などについて検討する
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	2		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2		